

ロボティクスで実現する 高齢者の防災・見守りサービス事業概要



2021年12月1日
ユカイ工学株式会社

1

弊社紹介

2

防災・見守りサービス事業の概要

ロボティクスで、世界をユカイに。

「一家に一台ロボットのいる社会」の実現を目指す
ロボティクスベンチャーです。

最先端のテクノロジーと暮らしによりそうデザインを組み合わせ、
新しい価値観を生み出していきたいと考えています。

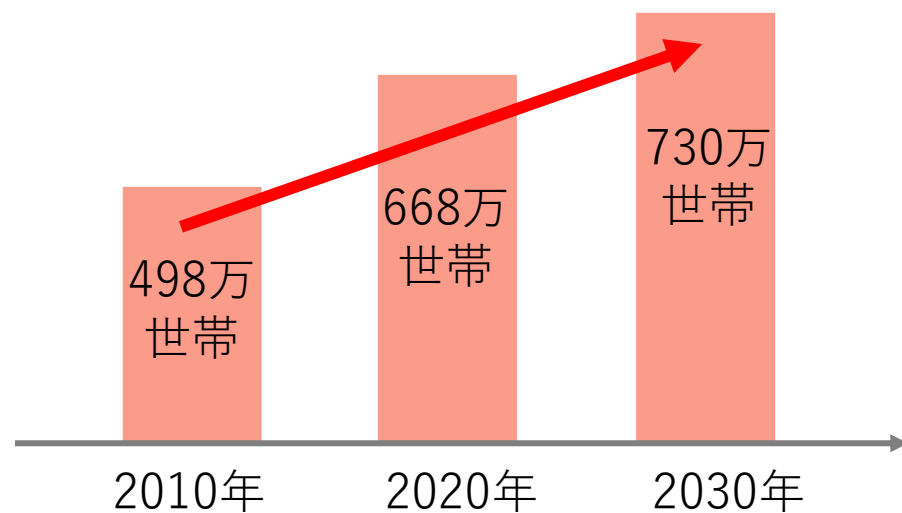


商号	ユカイ工学株式会社 / Yukai Engineering Inc.
代表	青木 俊介
事業内容	ロボット / IoTデバイスの開発・製造・販売
設立	2007年12月 / 2011年10月 ユカイ工学株式会社へ組織変更
従業員数	36名（2021年9月現在）
受賞・採択実績	    

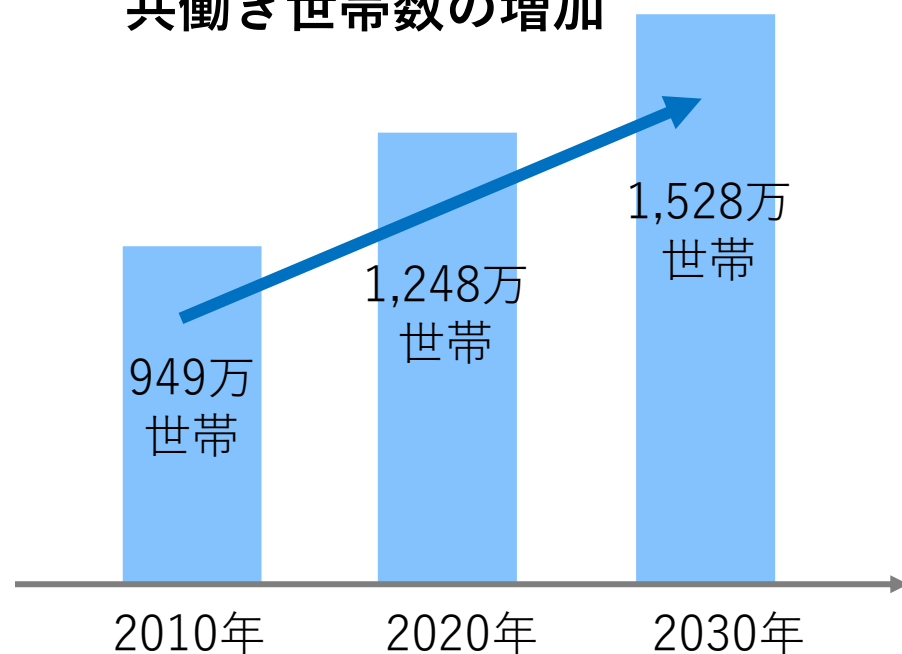
世の中の流れ

人間が健全な生活を行うために必要な
意思疎通がしにくい状況が増える

一人暮らし高齢者世帯数の増加

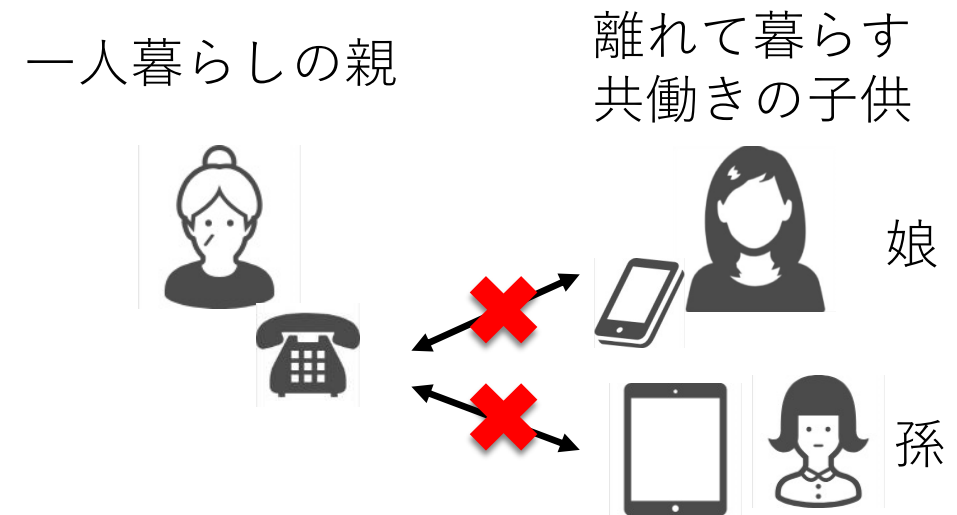


共働き世帯数の増加

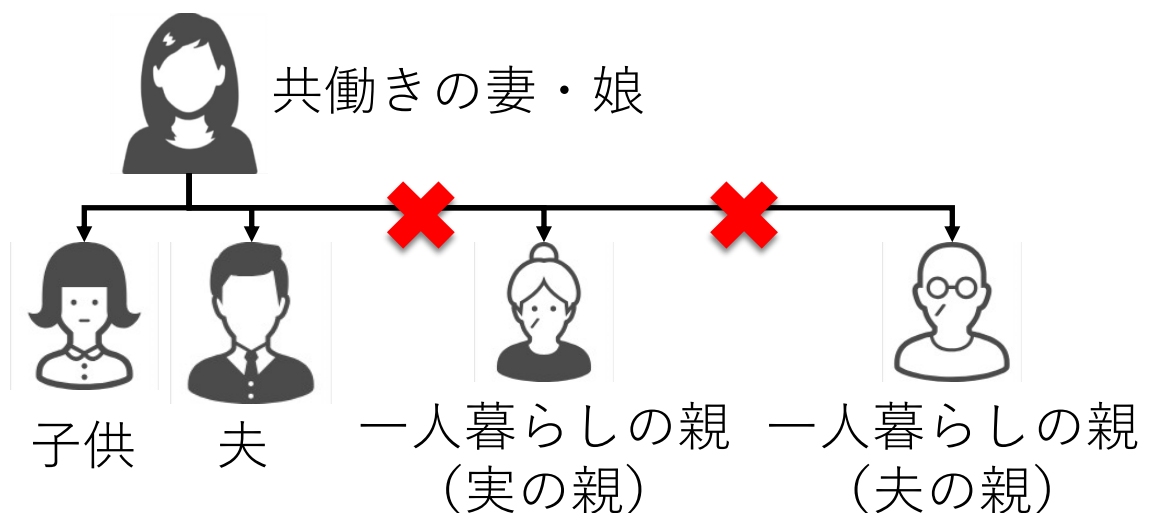


そこから生じるニーズ

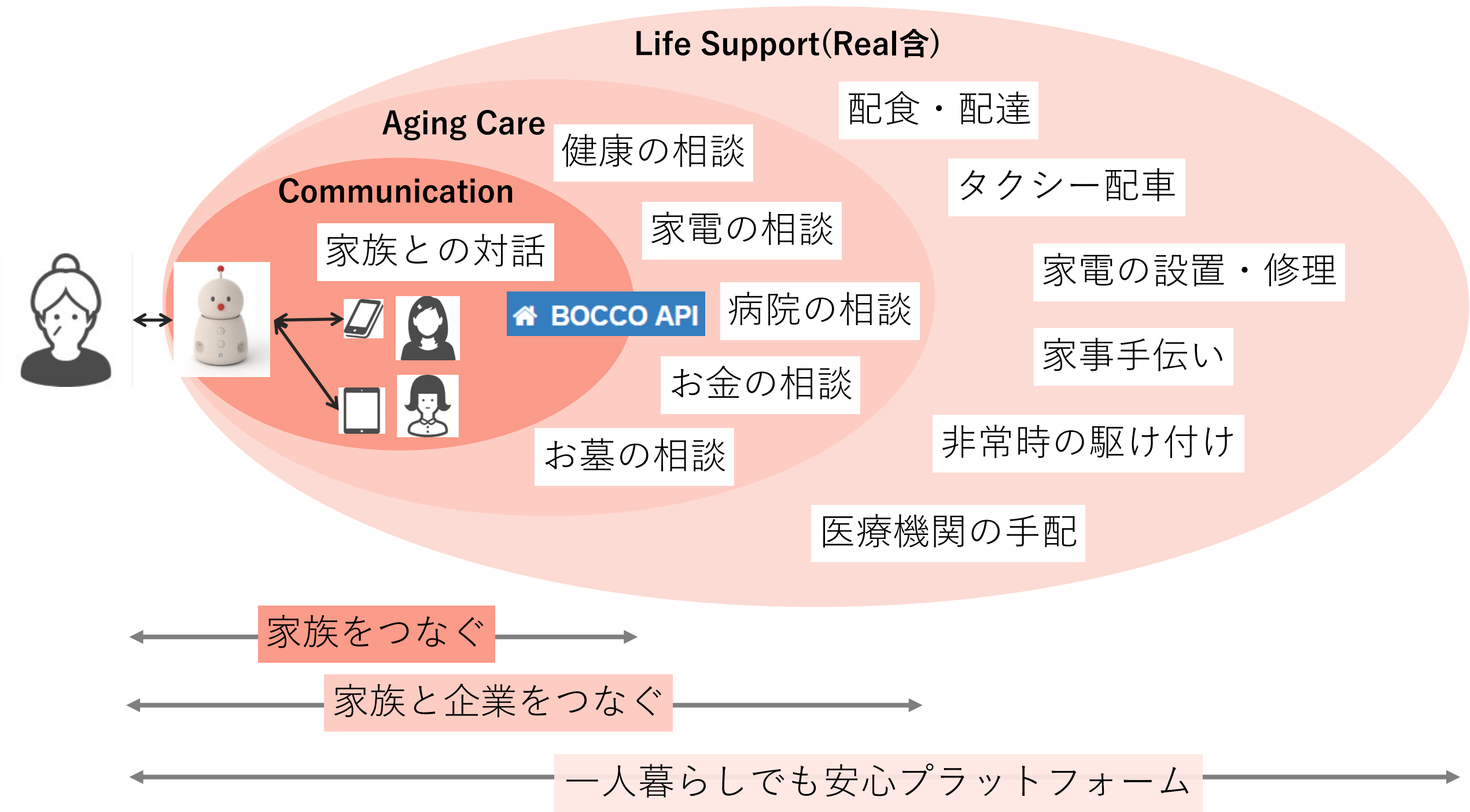
1. 物理的に離れていて、かつ生活リズムや身体的特性が異なる人々が、**スムーズに意思疎通をするニーズ**の増加



2. 家族以外のリソース/ITを活用した家事や育児、介護への**ニーズ**の増加
(全てを家族で賄うことの限界)



ロボットを含む利用者の特性に合わせたインターフェース提供を通じて、
家族、そして家族と企業をつなぐプラットフォームを提供していきたい



BOCCO emoは今年の3月に発売開始し、年度内で5,000台の出荷を計画しています。
共働きのご家庭や、一人暮らしの高齢者にそっと寄り添う、そんな存在です。



スマホが使えない家族とメッセージのやりとり。



メッセージのやりとり

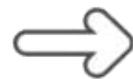


リマインダー通知



スマホアプリ

テキストメッセージ



音声メッセージ



BOCCO emo



センサや
IoTデバイスと連携



天気予報
防災情報を配信



ユーザー様の声

・ 孫の元気な声を毎日聞けるので
こちらが元気づけられます。
(78歳・女性)

・ 変化のない老夫婦の生活に、
決まった時間に声掛けをしてくれるの
で、生活にリズムが出来た。
(82歳・男性)

ご家族の声

・ 重度の認知症で、しゅっちゅう家族に電
話してきていたが、BOCCOを設置してか
ら激減しました。
(56歳男性)

・ 離れた父の様子が声やセンサーでわか
るので、見えない不安が
軽減されました。
(66歳・男性)

介護スタッフの声

・ 不審な電話がかかってきても、誰にも
言わなかったが、BOCCOを通じて教え
てくれた (80歳女性)

・ BOCCOが服薬やお風呂時間を教えて
くれて、私の負担を軽減してくれていま
す (43歳女性)

信頼される安心を、社会へ。

SECOM セコム医療システム株式会社

医療サービス

ご利用者一人ひとりが安心してご自宅で療養できるように、訪問看護などのサービスを通じて「在宅医療」を提供しています。

さらに、在宅医療に力を入れたクリニックの「開業・運営支援」や、地域に根ざした病院のための「運営支援」など、独自の事業によって、質の高い医療サービスを提供しています。



訪問看護サービス



セコム薬局
(薬剤提供サービス)

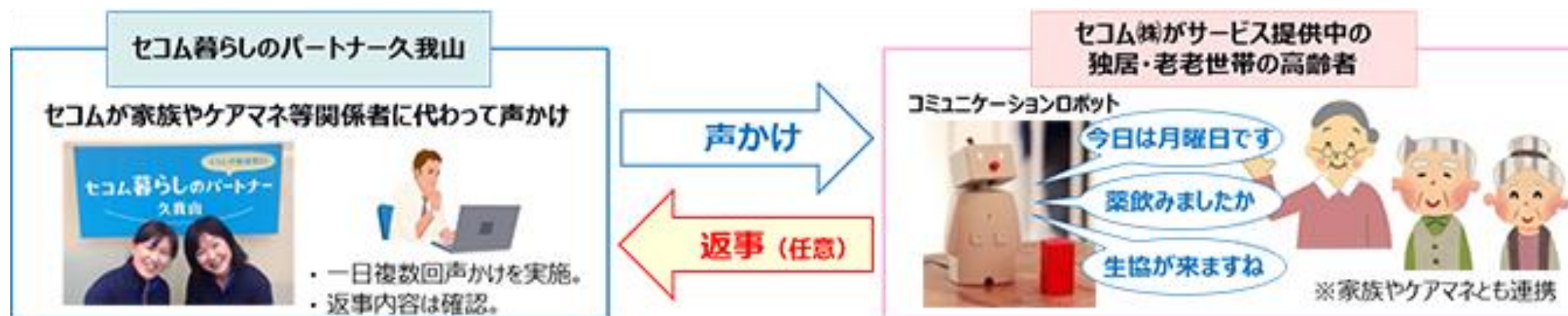


クリニック開業・
運営支援サービス

河村様（左）、奥村様（右）



個別の機能に関しては改善すべき課題はいくつかありますが、**ご利用者様の喜んでいる顔を見ているので、必ずサービス化を成功させたいです。**



お薬の飲み忘れ、過剰服用、重症化の予防（早期検知）、救急コールの低減等、一定の効果が見られている

1

弊社紹介

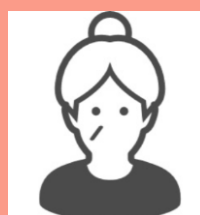
2

防災・見守りサービス事業の概要

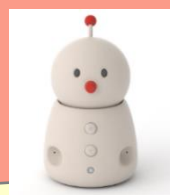
背景	1. 森之宮地域は、高齢者が多く（32.6%）、毎年数名の孤独死が発生している。以前よりも住民間の接点も減っており、大規模な災害が発生した場合の避難誘導も困難な状況が予想される。 2. そのため、ICTを活用した防災・見守りサービスを展開しようとしているが、スマートフォンの利用率が40%未満のため、高齢者（特に80代以上）への普及が課題である。
パーパス	ICTを活用して森之宮地域の高齢者が安心して暮らせる社会を実現すること （弊社ビジョンである「ロボティクスで世界をユカイに」を実現すること）
事業概要	1. コミュニケーションロボット（BOCCO emo）を活用し、主に独居高齢者を対象に、気象・防災情報、並びに行政や病院からの情報提供を行う。また、健康状況についてロボット経由でヒアリングしたり、センサを活用して日々の生活状況や部屋の温度のモニタリングを行う。 2. BOCCOを用いた高齢者見守り事業は、既に複数の自治体や企業と実績があるが、病院（社会医療法人大道会 森之宮病院）が主導となり医療の視点が強化されるのは、初めてのケースである。地域包括ケアの観点でも、高齢者を中心として家族、介護、医療、行政の連携が必要であり、デジタルサービスのインターフェイスとして、（スマホではなく）コミュニケーションロボットが果たせる役割は大きい。 3. 実証実験（～2022/3）では、無料モニタを募集し、以前よりも情報伝達の量が増えたか、防災の意識が高まったか、誰かとつながっている感覚が増えたかをアンケートで取得する予定。

Communication

高齡者



音声での家電操作



BOCCO Platform

Walk連携 (仮)

スマート 万歩計



スマート 体重計

店舗へ
チェックイン

BLE

アプリ・センサ情報

声掛け
・相談

異常時
告知

Chatbotも
利用可

チャット
ツール

API

API

Delivery連携（仮）

宅配・配食サービス

森ノ宮病院との連携

食事や健康に関する相談



薬局アプリ連携（仮）

服薬サポート

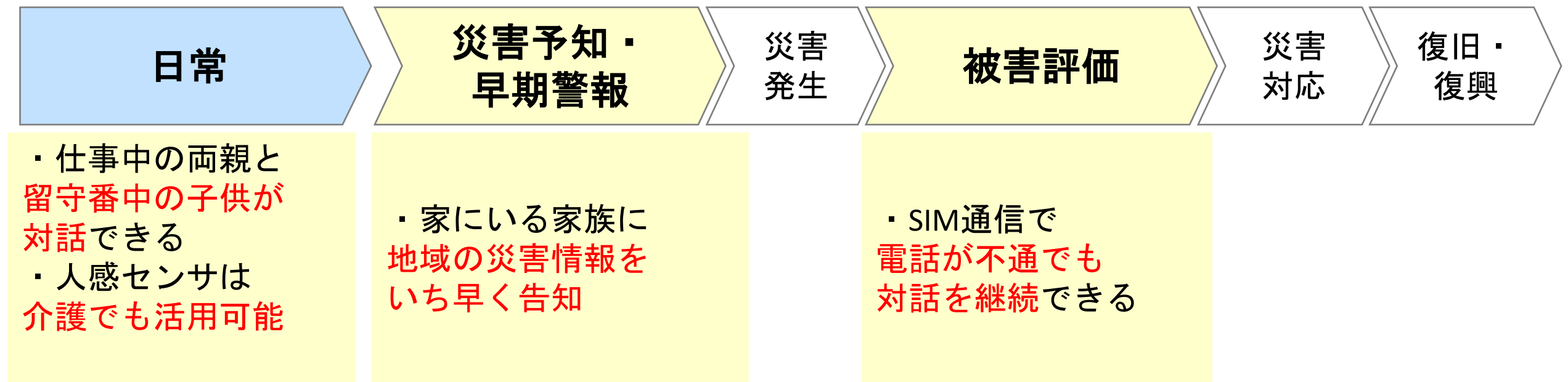


- 時間になったら通知
- 飲み忘れを通じ

スマホ
(GPS)



- 近隣に来たら配達前通知
- 注文/キャンセル/変更



災害伝言ダイヤルより日常使いでき、
一般電話の災害時のアクセス集中を回避できる





ロボティクスで大阪をもっとユカイに

・Y・U・K・A・I・
・E・N・G・I・N・E・E・R・I・N・G・

